

- 光化学オキシダントなどによる大気汚染の改善を図るためには、その原因物質である揮発性有機化合物（Volatile Organic Compounds「略称VOC」）の排出抑制が必要です。VOCは、塗料、印刷インキ、接着剤、洗浄剤、ガソリンなどに含まれるトルエン、キシレン、ホルムアルデヒドなどが代表的な物質です。さらに、VOCを適切に管理することは大気汚染防止だけでなく、職場環境の改善、コストの削減等の効果があります。
- この度、VOCの排出抑制の意義やメリットなどを関係事業者等に対し幅広く周知するほか、「高濃度PCB廃棄物」の期間内処理の達成に向けた方法等について周知することを目的として、セミナーを開催しました。

■令和2年度VOC排出抑制及びPCB廃棄物の適正な処理促進に関するセミナー

日時：令和3年2月1日（月）13：30～15：35

開催方法：オンラインセミナー

主催：中部経済産業局

共催：愛知県、名古屋市、愛知県中小企業団体中央会

参加者：208名

【講演】

「VOC排出削減対策の動向」

経済産業省産業技術環境局環境管理推進室 室長補佐 立松 博樹

「愛知県におけるVOC排出抑制の取組等」

愛知県環境局環境政策部水大気環境課 技師 佐藤 光則

「有機溶剤取扱い職場の健康障害防止対策」

中央労働災害防止協会中部安全衛生サービスセンター 技術専門役 衛生管理士 鹿島 聡子 氏

「PCB廃棄物の適正な処理の促進について」

環境省中部地方環境事務所資源循環課 課長補佐（PCB処理推進担当） 鈴木 康司

【取組事例】

「VOC排出抑制の取り組み」

トヨタ紡織株式会社グローバル安全衛生環境部PE環境室 グループ長 園田 伸隆 氏

